



切り干し大根ポリポリサラダ

にしだ みさき
西田美咲樹さん(畑中)

益城に生まれ育ち、6年前に古里に自宅を構えました。母たちも近くにいるので子育ても安心です。ご近所さんから野菜や果物などをいただいたりして助かっています。



美咲樹さんと長女で4歳の晴夏ちゃん、長男で1歳の健伸ちゃん

子どもたちの食事でも心掛けているのは、旬の物を食べさせること。野菜料理も多く「切り干し大根ポリポリサラダ」もその一つです。好き嫌いもなく、なんでも「おいしい」と食べてくれるので助かっています。



【材料】

切り干し大根30g、キュウリ1本、ニンジン1本、モヤシ半袋、キャベツ適宜、白すりごま適宜、塩適宜、A: たら(マヨネーズ大2.5、めんつゆ大2、酢大1、鶏がら粉末スープ小1、ごま油小1)

【作り方】

- ①切り干し大根を水で戻す。キュウリは薄切りにして塩をふり、水気を絞る。
- ②千切りにしたニンジン、キャベツとモヤシを沸騰したお湯で3分ほどゆでる。粗熱がとれたら絞る。
- ③①と②をボウルに入れ、Aのたれを加えて混ぜ合わせる。
- ④器にもって白すりごまをふりかける。



務する涼子さんは「愛犬の入浴が大仕事。ひと晩に2頭の体を洗うだけで体力を使い果たします」と笑います。

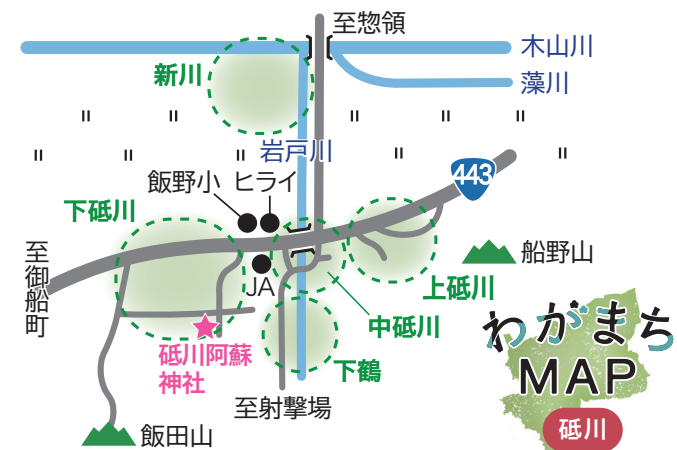
「地域の人たちがとても温かく、家族で獅子舞に参加したり消防団の交流があったり。ここに移り住んで本当に正解でした」と声をそろえるパパとママ。人情豊かなこの土地は、子どもたちにとってもかけがえのない古里になっていくはず。



1日に1個は卵を産んでくれるという坂本家のお庭番。烏骨鶏のナツちゃん



前列左から涼子さん、ロッキー君、涼助さん、梨心さん、凜清さん、バルボア君、後ろは龍一さん



散歩の終わりに

砥川地区の人たちの心をつなぐ、砥川阿蘇神社の大祭。

獅子舞にかける情熱を次世代へと受け継ぎながら、新しく加わった住民も温かく包み込み、心をひとつにして伝統を紡いでいます。移住者の人たちの誰もが口々に語る「地域の温かさ」。世知辛い世の中と言われる現代ですが、私たちの町には、どこにも負けない素晴らしい財産が根付いています。



その様子を温かいまなざしで見守る父の良治さんは「私も若い頃、農家を継ぐと農業高校に進学したんです。しかし卒業寸前に父から『これからは農業が厳しくなる時代が来る。だけん就職しろ』と言われて断念。けれど息子には、自分の進みたい道を歩いて欲しいと背中を押しました」と振り返ります。

かつて父親が進もうとした道を、時を経て歩み始めた息子。その大きな夢が、砥川の大地に新たな実りをもたらしてくれることでしょう。



左 / 息子の選んだ道を後押しする良治さん(左)と幸大さん。右 / コンバインを操る幸大さん。今年も豊作のようです



エレガントな古民家暮らし

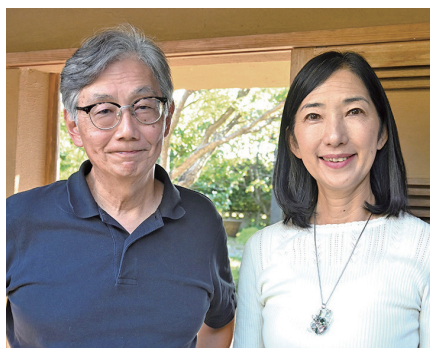
100年の時を超えた古民家で、上質な時間を重ねる吉本徹也さんと今月号の特集にも登場した孝子さんに出会いました。吉本さん夫婦は約4年前、都会の喧噪を離れ東京から下砥川地区へと移住しました。一定年後は豊かな自然に囲まれた古民家暮らしを楽しみたいとインターネットで探したところ、運命的なこの家に出合ったんです」と話す徹也さんの隣で孝子さんも「一目ですっかり心を奪われました」とうなずきます。早速、お宅拝見。まず格子戸をくぐった玄関から、リビングに足を踏



夫婦のコレクションの絵画が飾られた壁面に、チェストや椅子を配置。和と洋のエッセンスが融合する空間



大きな梁が伸びた吹き抜け空間に、ヨーロッパの調度品が溶け込む吉本家のリビング



「近所の子どもたちもよくやって来て、家で宿題をするんですよ」とうれしそうに話す吉本さん夫婦

み入れると立派な梁があらわになった吹き抜け空間が広がります。中央にはイギリス製の大きなテーブルが鎮座。その奥は畳の間で、一角には茶の湯の炉が切られ、孝子さんによる茶道教室が開かれています。

伝統的な日本家屋と海外のテイストが溶け合う家。その理由は、元外交官として長年海外生活を送ってきた徹也さんの見聞と、CA時代に培ったグローバルな感性で、夫と共に異文化に造詣を深めてきた孝子さんの美意識にありました。

「引越のとき、ご近所の方におにぎりを差し入れてくださったんです。この家はもちろん気に入ってますが、何より地域の方々の温かさがありがたいと思う日々です」と話す二人は、町の取り組みにも精力的に参加しています。「志賀哲太郎顕彰会」や「四賢婦人記念館」で

16の個性集まる笑顔満開の大家族

10年前、下砥川地区に熊本市北区から移住してきた坂本家は大家族。主の龍一さんと妻の涼子さん、長女で高1の梨乃さん、長男で中1の凜清さん、双子で小5の涼助さんと梨心さん。もともとと続きますよー。スタンダードプードルが4頭にパグが1頭、そして猫4匹、さらには庭で飼っている烏骨鶏1羽と、計16の個性が集まる大にぎわいな暮らしです。

柔道クラブに所属する食べ盛りの4人の子もたちと犬と猫、鶏のごはん。「とにかく、食費が半端ないです」と龍一さんは苦笑い。動物病院に勤

